

障害者支援施設 ホタルの郷

1. 運営方針

本会では障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づき、この対応に万全を期するために職員を適正配置し、個を重視したきめ細かな利用者への支援・援助を展開していく。

本施設をはじめ大部分の入所施設は、24時間限られた空間の中で自己完結的な支援で、様々な弊害が生じてきた事は否めない。これらを謙虚に受け止め、可能な限り施設利用者の地域移行を推進するために、外には積極的に多くの地域交流活動を展開し、地域との絆を深め、中においては利用者の人権確保を基本に、豊かな生き甲斐のある生活の中で、社会適応のための心身機能の発揚と地域移行の為の人格形成を目的に、設備の充実と支援・援助の向上を図り、施設であることに起因する一般社会との隔たりの縮小に努める。

2. 2022年度の目標

(1) 利用者にとって、できるだけ快適な住環境の実現を目指す

開所以来20年以上の年月が経過し、その都度必要な生活環境の整備を行ってきたが、不十分な箇所が見受けられるため引き続き整備を行う。修繕については新型コロナウイルス感染予防対策に伴い主に屋外の整備を行う。屋内については状況に合わせて行う。

(2) 利用者の生活の質の向上に努める

個別支援を充実させるため、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底したうえで、個々の意向を取り入れた少人数での個別外出を実施する。また、全体行事についても密を避ける内容とし、としなが祭とクリスマス会を実施予定。3寮・5寮間に設営したテラスを多目的スペースとして利用することで、日中活動、余暇活動の充実を図る。利用者の重度化、高齢化に伴う日中活動の見直しや、喫茶コーナーの開放をし、日課の充実を図る。また安全で快適な入浴の提供をするため、機械浴室を積極的に活用する。

(3) 利用者の安全確保と安心できる生活の場の提供に努める

新型コロナウイルス感染予防対策に伴い、職員は出退勤時の検温、マスクの着用と手指消毒の徹底をする。日中活動、余暇時間等、これまでの男女混合の生活からできるだけ密を避け、生活の場の提供に努める。

協力医と協力し、新型コロナウイルスワクチン接種を行う。また、新型コロナウイルスやワクチン接種に関する勉強会を実施する。

職員は、新型コロナウイルス感染予防対策に伴い、研修会等に参加する機会が少ないため、リモートによる研修に参加して障害についての専門知識を習得すると共に、職員の経営者意識を高めモチベーションをアップすることにより、利用者が安心できる生活の場の提供に繋げる。

(4) ご家族との連携を図る。

新型コロナウイルス感染予防対策に伴い、保護者会の開催、帰省、面会等の実施ができないため、ご家族への連絡方法として、月次報告書と利用者の写真を送付し、毎月の状況を報告する。また、リモート面会、短時間の面会（感染者数減少時）の実施をする。